

【目標達成に向けた具体的な実施事業】

南空知の発展に向けて「ヒトやモノの流れ」「農業の振興」という 地域課題を踏まえ「南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備」をテーマとし、二つの課題を克服するため、下記の2つの指標の達成を目標とする。

• 目標1

一級河川を横断する農産物輸送の強化

(目標値)

→農業施設間の輸送時間の35%短縮。

• 目標2

交通ネットワーク整備による市街地間のアクセス向上

(目標値)

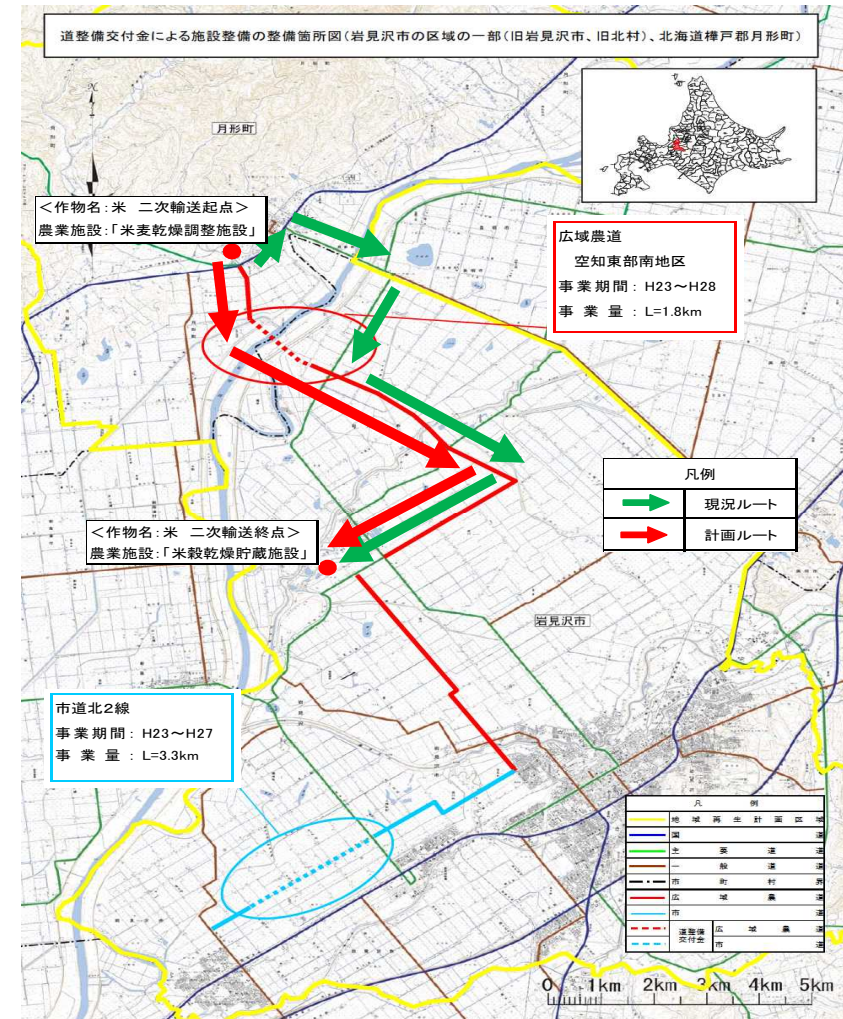
→幌向地域～上幌向地域間の走行速度20%向上。

また、計画目標達成のためソフト事業に取り組む。

1) 南空知ふるさと物産展等開催事業

2) 南空知再発見バス事業

【 目標概念図 】



『南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備』

【目標達成に向けた具体的な事業】

目標1 : 一級河川を横断する農産物輸送(モノの流れ)の強化(輸送時間35%短縮)

【事業実施・整備による効果】

【広域農道 1路線】

月形町は、南空知で唯一、一級河川の右岸に位置している。対岸は南空知中心地域の岩見沢市が位置するが、岩見沢市への交通アクセスは、一級河川を横断している幹線道路橋1橋のみであり、たびたび対岸へ向かう車両で混雑し農産物輸送の妨げになっていた。

広域農道により農道及び一級河川への農道橋を架橋されたことにより、収穫期の農産物輸送車両の輸送距離短縮により、35%の輸送時間の軽減が図られ、「モノ(農産物)」の流れの強化につながった。

渋滞する幹線道路橋



整備された農道橋



■目標1 : 農産物輸送の効率化(広域農道)
(輸送時間の35%短縮)

	現況	計画
時間	12.2分	7.95分
速度	30 km/hr	40 km/hr
距離	6.1 km	5.3 km

* 効果 $(12.2分 - 7.95分) \div 12.2分 = 34.8 \div 35\%$

『南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備』

【目標達成に向けた具体的な事業】

目標2 : 交通ネットワークの整備による市街地間のアセス向上(走行速度20%向上)

【事業実施・整備による効果】

【市道 1路線】

本路線は、集落間を結ぶ幹線市道であるが、路肩幅員が確保されていないことから冬期間において、車両のすれ違いが困難な状況であり、豪雪地帯の本地域にとって、道路幅員確保が課題であった。

本路線の改修により、道路幅員の拡幅がなされたことにより、冬期間の安全確保、交通渋滞の解消及び夏期においては、20%の走行速度向上が図られ交通基盤の強化につながった。

冬期間渋滞する国道



路肩狭小による交通障害



■ 目標2 : 幅員拡幅による走行速度向上(市道)
(走行速度の20%向上)

	現況	計画
道路幅員	5.5 m	8.0 m
走行速度	40 km/hr	50 km/hr
距離	3.3 km	3.3 km

* 効果 $(50\text{km/hr} - 40\text{km/hr}) \div 50\text{km/hr} = 20\%$

『南空知ふるさと圏の均衡ある発展に向けた交通ネットワークの整備』

【目標達成に向けた具体的な事業】

その他関連事業 1 : 南空知ふるさと物産展等開催事業の実施

【事業実施内容】

南空知圏の均衡ある発展を達成するための催しを実施。

- ・ふるさと物産展等開催（札幌市・空知管内にて実施）

【目標達成に向けた具体的な事業】

その他関連事業 2 : 南空知再発見バス事業の実施

【事業実施内容】

南空知圏の均衡ある発展を達成するための催しを実施。

- ・圏域内の史跡や文化、観光施設などを巡るバスツアーを年4～5回程度実施し、南空知圏の魅力をPRする催しを実施。